

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年9月27日~10月1日)

発表日: 2010年9月24日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(9月27日~10月1日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月27日 (月)	8:50 8月貿易統計				
	輸出金額 (前年比)	+17.5%	+19.0%	+15.5%~+22.8%	+23.5%
	輸入金額 (前年比)	+17.5%	+17.5%	+13.0%~+20.6%	+15.7%
	貿易収支 (原数値)	1,941 億円	2,000 億円	1,166 億円~5,889 億円	8,020 億円
9月27日 (月)	8:50 8月企業向けサービス価格指数 (前月比)	—	—	—	▲0.4%
	(前年比)	—	—	—	▲1.2%
9月28日 (火)					
9月29日 (水)	8:50 日銀短観 9月調査				
	業況判断 DI・大企業製造業 (最近)	+3	+7	+2~+9	+1
	(先行き)	▲1	+3	▲5~+6	+3
	大企業非製造業 (最近)	▲3	▲2	▲5~0	▲5
	(先行き)	▲2	▲4	▲8~+2	▲4
	中小企業製造業 (最近)	▲14	—	—	▲18
	(先行き)	▲16	—	—	▲19
	中小企業非製造業(最近)	▲25	—	—	▲26
	(先行き)	▲30	—	—	▲29
	10年度設備投資・大企業(前年比)	+4.1%	+3.0%	+2.3%~+4.5%	+4.4%
	中小企業(前年比)	▲9.3%	—	—	▲15.5%
	8:50 8月製造業部門別投入・産出物価指数				
交易条件(前月差)	—	—	—	0.0%pt	
(前年差)	—	—	—	▲2.4%pt	
9月30日 (木)	8:50 9月短観業種別計数及び調査全容				
	8:50 8月鉱工業生産指数 (前月比)	+0.8%	+1.1%	+0.5%~+1.7%	▲0.2%
	(前年比)	+16.7%	+16.9%	+15.0%~+17.6%	+14.2%
	8:50 8月商業販売統計				
	小売業販売額(前年比)	+4.8%	+4.7%	+2.0%~+5.1%	+3.8%
9月30日 (木)	14:00 8月住宅着工統計				
	新設住宅着工戸数(前年比)	+12.6%	+10.2%	+0.4%~+16.5%	+4.3%
(季調値年率)	77.5 万戸	75.9 万戸	69.1 万戸~80.2 万戸	77.2 万戸	
10月1日 (金)	8:30 8月消費者物価指数・全国コア (前年比)	▲1.0%	▲1.0%	▲1.2%~▲0.9%	▲1.1%
	全国総合 (前年比)	▲0.8%	▲0.9%	▲1.0%~▲0.7%	▲0.9%
	8:30 9月消費者物価指数・東京コア (前年比)	▲1.1%	▲1.0%	▲1.2%~▲0.9%	▲1.1%
	東京総合 (前年比)	▲0.8%	▲0.9%	▲1.1%~▲0.5%	▲1.0%
	8:30 8月労働力調査 完全失業率	5.1%	5.1%	5.1%~5.3%	5.2%
	8:30 8月一般職業紹介状況 有効求人倍率	0.54 倍	0.54 倍	0.53 倍~0.55 倍	0.53 倍
	8:30 8月家計調査(農林漁家世帯を含む)				
	実質消費支出・全世帯(前年比)	+2.4%	+1.4%	▲0.3%~+2.4%	+1.1%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	+2.4%	—	—	+1.0%
	14:00 9月新車販売台数 軽乗用車 (前年比)	—	—	—	+21.1%
	14:15 乗用車 (前年比)	—	—	—	+49.0%

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

8月貿易統計・貿易収支額(原数値) 当社予想: 1941 億円 中央値: 2000 億円

輸出金額は前年比+17.5%と前月から伸びが鈍化すると予想する。世界経済の減速を背景として、輸出が減

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

速傾向にあることが示される見込み。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

日銀短観 9月調査 業況判断DI・大企業製造業(最近) 当社予想：+3 中央値：+7

9月調査は、大企業製造業の業況判断が前回比+2ポイント改善となることを見込む。円高進行が企業収益を下押しする作用は気かりではあるが、企業収益は今のところ堅調さを維持できているだろう。設備投資も大企業が対前年でプラスとなる計画であり、中小企業でもマイナス幅の縮小が進み、内需の支えになる。今回の短観は、円高の影響を相対的に評価し、景気回復を確認する有力な材料になるはずだ。

(主席エコノミスト：熊野 英生)

8月鉱工業生産指数(前月比) 当社予想：前月比 +0.8% 中央値：同 +1.1%

前月比+0.8%と3ヵ月ぶりの上昇を予想するが、均してみると鉱工業生産は減速傾向にあると考えられる。海外経済の減速に伴う輸出鈍化や、リーマン・ショック以降の急激な落ち込みからの在庫復元効果の一巡等が背景にあると考えられる。なお、先行きの生産を占う上では9、10月の予測指数の動向が重要。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

8月小売業販売額(前年比) 当社予想：前年比 +4.8% 中央値：同 +4.7%

8月の小売業販売額は前年比+4.8%、前月比+1.9%を予想する。エコカー補助金の支給終了に向けた駆け込み需要が発生したため、自動車小売業の大幅な増加が見込まれる。一方、猛暑が長引いたことで秋物の販売不調が見込まれ、織物・衣服・身の回り品小売業などは低下が予想される。ただ全体として見れば、自動車小売業の大幅増加に牽引される形で増加を示すと考えられる。

(エコノミスト：岩田 陽之助)

8月新設住宅着工戸数(前年比) 当社予想：前年比 +12.6% 中央値：同 +10.2%

8月の住宅着工戸数は、年率換算済み季節調整値77.5万戸、前年比+12.6%を予測する。マンション販売環境の好転や住宅版エコポイント制度をはじめとした政策の後押しなどを受けて、住宅着工戸数は3ヶ月連続で増加すると予想される。

先行きについても、各種住宅取得支援策による下支え効果が続くことで、当面、緩やかな持ち直し基調が続くと見込まれる。但し、先行き景気の減速感が強まる中、雇用・所得環境の回復ペースは緩慢なものに留まると予想される下では、低水準での推移が継続しよう。

(エコノミスト：小杉 晃子)

8月全国消費者物価指数(生鮮食品除く総合、前年比) 当社予想：前年比 ▲1.0% 中央値：同 ▲1.0%

8月の全国消費者物価(生鮮食品除く総合)は前年比▲1.0%と、7月から0.1%ポイント下落幅が縮小すると予想する。電気・都市ガス代や食料品のマイナス寄与が縮小することが影響する見込みである。

足元で物価下落ペースは徐々に緩やかになっているが、物価下落幅自体はまだかなり大きいことに加え、米国型コアの下落幅縮小ペースもかなり緩慢なものにとどまっている。需給バランスの崩れに由来する物価下落圧力には根強いものがあるため、この先も物価下落幅の縮小ペースは緩やかなものにとどまる可能性が高い。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

8月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：5.1％／0.54倍 中央値：5.1％／0.54倍

8月の完全失業率は前月から0.1%pt低下の5.1%を予想する。①企業都合での失業が減少傾向にあること、②非正規中心ではあるが徐々に求人が出始めていること、といった要因は雇用環境が徐々に明るさを取り戻しつつあることを示唆するものである。企業の雇用過剰感が強く残っていることから、持ち直しのペースは緩やかだが、景気回復がラグを伴って波及することで、雇用環境は回復の途上にあると考えられる。

(エコノミスト：岩田 陽之助)

8月家計調査（農林漁家世帯を含む、前年比） 当社予想：前年比+2.4% 中央値：同+1.4%

8月の実質消費支出（全世帯）は前年比+2.4%、前月比+1.8%を予想する。エコカー補助金支給終了に向けて、8月は乗用車において駆け込み需要が発生している。こうした自動車購入の大幅な増加に牽引される形で、全体としても増加が予想されよう。なお猛暑については、エアコンなどの季節商品の販売が好調であった反面、暑すぎで外出が控えられた影響も大きく効果のほどは現時点では判断しがたい。

(エコノミスト：岩田 陽之助)

以上

図表 1



図表 2

日銀短観(業況判断DI)

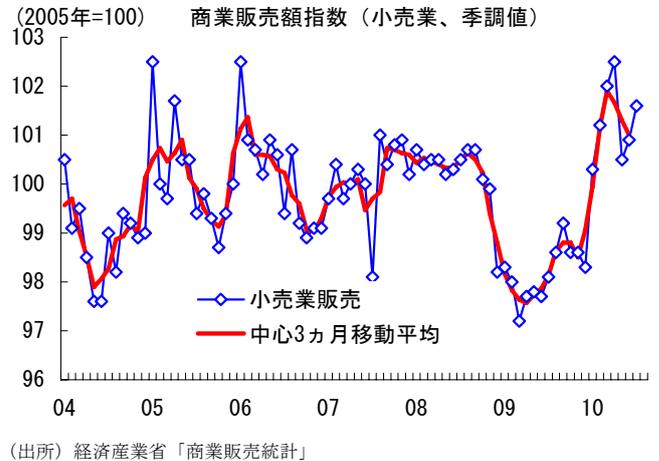
		業況判断DI			
		大企業		中小企業	
		製造業	非製造業	製造業	非製造業
2008年	3月調査	11	12	-6	-15
	6月調査	5	10	-10	-20
	9月調査	-3	1	-17	-24
	12月調査	-24	-9	-29	-29
2009年	3月調査	-58	-31	-57	-42
	6月調査	-48	-29	-57	-44
	9月調査	-33	-24	-52	-39
	12月調査	-25	-21	-41	-34
見通し	3月調査	-14	-14	-30	-31
	6月調査	1	-5	-18	-26
	9月調査	3	-3	-14	-25
	先行き	-1	-2	-16	-30

注:実績は日本銀行「短期経済観測調査」。見通しは第一生命経済研究所。

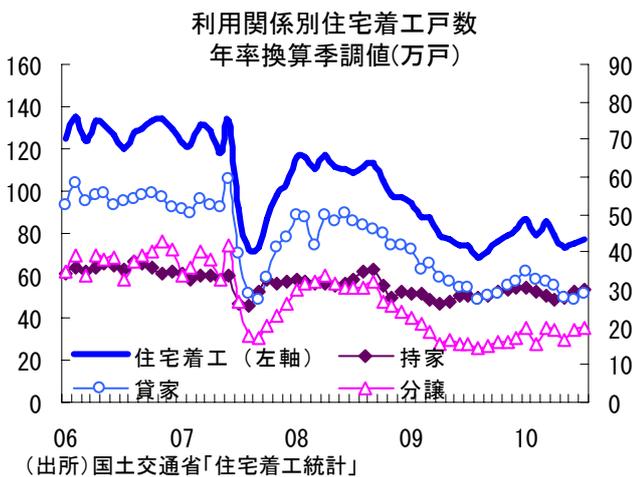
図表 3



図表 4



図表 5

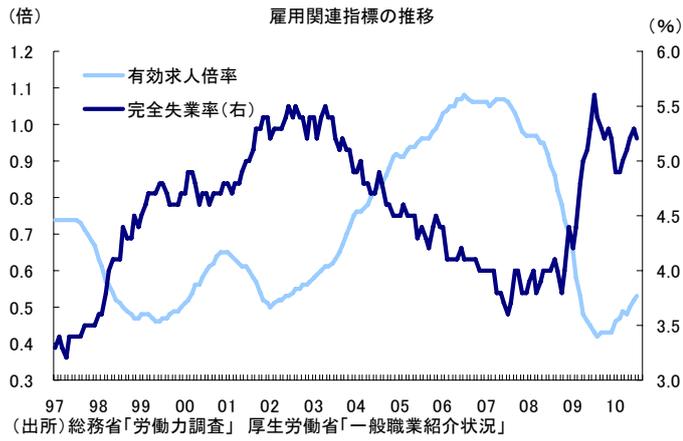


図表 6

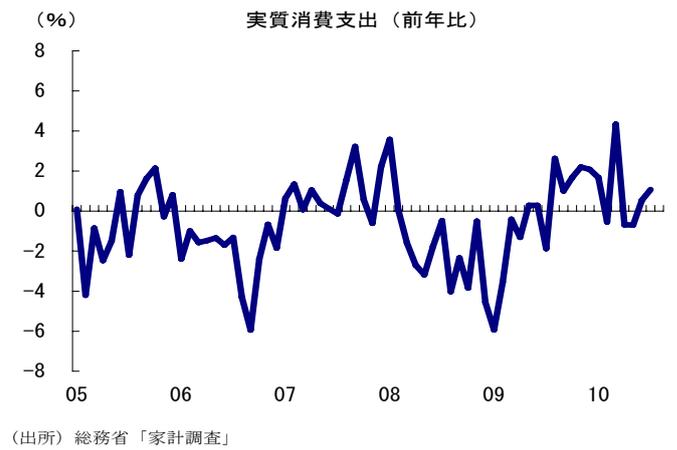


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

図表 7



図表 8



10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/27 8月貿易統計(8:50) 8月企業向けサービス価格指数(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (欧)8月M3 ※(ハトナム)7-9月期GDP	28 2年利付国債 (米)9月消費者信頼感指数 (独)9月消費者物価(速) (英)4-6月期GDP(確)	29 9月日銀短観(8:50) 8月投入・産出物価指数(8:50) (欧)9月経済信頼感	30 9月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)4-6月期GDP(確) (米)9月シンゴPMI (独)9月失業率 (欧)9月消費者物価(速)	10/1 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 9月軽自動車販売(14:00) 9月自動車販売(14:15) (米)8月個人所得・消費 (米)9月シカン大消費者センテ(確) (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売台数 (欧)9月製造業PMI(確) (独)9月製造業PMI(確) (仏)9月製造業PMI(確) (欧)8月失業率 (英)9月製造業PMI
4 9月マネタリーベース(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 金融政策決定会合(～5日) (欧)8月生産者物価	5 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)9月ISM非製造業指数 (欧)9月サービス業PMI(確) (独)9月サービス業PMI(確) (仏)9月サービス業PMI(確) (欧)8月小売売上高 (豪)金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策決定会合	6 8月家計消費状況調査(14:00) 10月金融経済月報(14:00) (欧)4-6月期GDP(確) (独)8月製造業受注	7 8月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (英)BOE金融政策決定会合 (欧)ECB理事会 (独)8月鉱工業生産 (仏)8月貿易収支 (フィリピン)金融政策決定会合	8 8月国際収支(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月30日、9月6、7日分)(8:50) 9月景気ウォッチャー調査 (米)9月雇用統計 (米)8月卸売在庫 (独)8月貿易収支 (独)8月経常収支 (韓)金融政策決定会合
11 (仏)8月鉱工業生産	12 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 9月消費動向調査(14:00) (独)9月消費者物価(確) (英)9月消費者物価 (英)8月貿易収支	13 8月機械受注統計(8:50) 9月マネーストック(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) (米)9月輸入物価 (欧)8月鉱工業生産 (仏)9月消費者物価 (英)9月失業率	14 9月企業物価(8:50) 8月商業販売統計・確(13:30) 30年利付国債 (米)8月貿易収支 (米)9月生産者物価 (欧)ECB月報 (シンガポール)7-9月期GDP(予測値)	15 8月鉱工業指数・確(13:30) (米)9月消費者物価 (米)10月NY連銀指数 (米)10月シカン大消費者センテ(速) (欧)9月消費者物価(確) (欧)8月貿易収支 (トルコ)金融政策決定会合 (メキシコ)金融政策決定会合
18 10月ロイター短観(8:30) 8月第3次産業活動指数(8:50) 8月建設総合統計(14:00) (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅市場指数	19 8月毎月勤労統計・確(10:30) ※10月月例経済報告 5年利付国債 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数 (欧)8月経常収支 (欧)8月建設支出 (独)10月ZEW景況指数	20 8月景気動向指数改訂(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)ページブック (英)金融政策委員会議事録 (タイ)金融政策決定会合	21 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 8月全産業活動指数(13:30) 20年利付国債 (米)10月フィラ連銀指数 (米)9月景気先行指数 ※(欧)10月製造業PMI(速) ※(欧)10月サービス業PMI(速) ※(独)10月製造業PMI(速) ※(独)10月サービス業PMI(速) ※(仏)10月製造業PMI(速) ※(仏)10月サービス業PMI(速) (英)9月小売売上高 (中国)7-9月期GDP (フランス)金融政策決定会合	22 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) ※9月全国百貨店売上高(14:30) (独)10月Ifo景況感指数
25 9月貿易統計(8:50) (米)9月中古住宅販売件数 (欧)8月鉱工業新規受注 ※(韓)7-9月期GDP(速)	26 9月企業向けサービス価格指数(8:50) (英)7-9月期GDP(速)	27 2年利付国債 (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (欧)9月M3 (独)10月消費者物価(速)	28 9月商業販売統計(8:50) 9月投入・産出物価指数(8:50) 10月日銀展望レポート(15:00) 金融政策決定会合 日銀総裁定例記者会見(15:30) (欧)10月経済信頼感 (独)10月失業率 (ニュージーランド)金融政策決定会合	29 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月鉱工業指数(8:50) 9月住宅着工統計(14:00) (米)7-9月期GDP(速) (米)10月シカン大消費者センテ(確) (欧)9月失業率 (欧)10月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

11月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
11/1 9月毎月勤労統計(10:30) 10月軽自動車販売(14:00) 10月自動車販売(14:15) (米)9月個人所得・消費 (米)10月ISM製造業指数 (米)9月建設支出 (欧)10月製造業PMI(確) (独)10月製造業PMI(確) (仏)10月製造業PMI(確) (英)10月製造業PMI	2 10月マネタリーベース(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(10月4,5日分)(8:50) 10年利付国債	3 (米)10月自動車販売 (米)FOMC (米)10月ISM非製造業指数 (欧)10月サービス業PMI(確) (独)10月サービス業PMI(確) (仏)10月サービス業PMI(確)	4 (欧)9月生産者物価 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 9月家計消費状況調査(14:00) (米)10月雇用統計 (米)9月消費者信用残高 (欧)9月小売売上高 (独)9月製造業受注
8 9月景気動向指数(14:00) (独)9月鉱工業生産 (独)9月貿易収支	9 9月国際収支(8:50) 10月マネーストック(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 9月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 10月景気ウォッチャー調査 40年利付国債 (米)9月卸売在庫 (独)10月消費者物価(確) (仏)9月貿易収支 (英)9月鉱工業生産 (英)9月貿易収支	10 10月消費動向調査(14:00) (米)9月貿易収支 (米)10月財政収支 (米)10月輸入物価 (仏)10月消費者物価 (仏)9月鉱工業生産 (英)BOE物価レポート	11 9月機械受注統計(8:50) 11月ロイター短観(8:30) 10月企業物価(8:50) 5年利付国債 (欧)ECB月報	12 9月商業販売統計・確(13:30) (米)11月シカゴ大消費者センチ(速) (欧)9月鉱工業生産 (欧)7-9月期GDP(速) (独)7-9月期GDP(速) (仏)7-9月期GDP(速)
15 7-9月期GDP1次速報(8:50) 9月鉱工業指数・確(13:30) 金融政策決定会合(～16日) (米)10月小売売上高 (米)11月NY連銀指数 (米)9月企業在庫 (欧)9月貿易収支	16 9月第3次産業活動指数(8:50) 9月毎月勤労統計・確(10:30) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)10月生産者物価 (米)10月鉱工業生産 (米)11月NAHB住宅市場指数 (欧)10月消費者物価(確) (独)11月ZEW景況感 (英)10月消費者物価	17 9月景気動向指数改訂(14:00) 11月金融経済月報(14:00) 9月建設総合統計(14:00) (米)10月消費者物価 (米)10月住宅着工件数 (米)10月建設許可件数 (欧)9月建設支出 (英)10月失業率 (英)金融政策委員会議事録	18 20年利付国債 (米)10月景気先行指数 (米)11月フィラ連銀指数 (欧)9月経常収支 (英)10月小売売上高	19 金融政策決定会合議事要旨(10月28日分)(8:50) 9月全産業活動指数(13:30) ※10年9月末市街地価格指数(14:00) ※11月月例経済報告
22 10月コンビニエンスストア統計(16:00) ※10月全国百貨店売上高(14:30) ※(欧)11月製造業PMI(速) ※(欧)11月サービス業PMI(速) ※(独)11月製造業PMI(速) ※(独)11月サービス業PMI(速) ※(仏)11月製造業PMI(速) ※(仏)11月サービス業PMI(速)	23 (米)10月中古住宅販売件数 (米)7-9月期GDP(改) (独)7-9月期GDP(確)	24 ※10月チェーンストア販売統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月耐久財受注 (米)11月シカゴ大消費者センチ(確) (米)10月新築住宅販売件数 (米)9月住宅価格指数 (米)FOMC議事録 (欧)9月鉱工業新規受注 (独)11月Ifo景況感指数 (英)7-9月期GDP(改)	25 10月貿易統計(8:50) 10月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債	26 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) (欧)10月M3 (独)11月消費者物価(速)
29 10月商業販売統計(8:50) 10月投入・産出物価指数(8:50) (欧)11月経済信頼感	30 10月家計調査(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月一般職業紹介状況(8:30) 10月鉱工業指数(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)11月シカゴPMI (米)11月CB消費者信頼感指数 (米)9月S&Pケース・シラー住宅価格 (欧)11月消費者物価(速) (欧)10月失業率	12/1 11月軽自動車販売(14:00) 11月自動車販売(14:15) ※10年利付国債 (米)ページブック (米)11月ISM製造業指数 (米)10月建設支出 (米)11月自動車販売 (欧)11月製造業PMI(確) (独)11月製造業PMI(確) (仏)11月製造業PMI(確) (英)11月製造業PMI	2 7-9月期法人企業統計(8:50) 11月マネタリーベース(8:50) (欧)ECB理事会 (欧)7-9月期GDP(確)	3 (米)11月雇用統計 (米)11月ISM非製造業指数 (欧)10月小売売上高 (欧)11月サービス業PMI(確) (独)11月サービス業PMI(確) (仏)11月サービス業PMI(確)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。